

第10回東北 MIST 研究会の報告

平成 30 年 1 月 28 日(日)に TKP ガーデンシティ仙台勾当台 2F ホール 1 (仙台パークビル)において、第 10 回東北 MIST 研究会を開催いたしました。

極寒の仙台でしたが、多数ご参加をいただき盛会のもとに終了いたしましたのでご報告いたします。

一般演題は 9 題ご発表いただきました。外傷、変性疾患、感染、腫瘍、脊柱変形と多岐にわたる分野の発表で、討論も白熱し参加者の皆様様に心から感謝申し上げます。

特別講演 1 では、社会医療法人みゆき会 みゆき会病院 理事長 武井 寛 先生に『 OLIF,CBT,BKP の合併症と骨粗鬆症性椎体骨折の保存療法 』という演題で、高齢者の腰椎疾患に対する治療戦略について、なぜか柔道の反則技を交えて、楽しくご講演いただきました。

特別講演 2, 医療法人蜂友会 はちや整形外科病院 院長 蜂谷 裕道 先生は、東北人でもきつと思うほどの真冬の仙台に、名古屋でも薄すぎでしょうと思えるほどの薄着で到着され、『 MIST を安全に行うための留意点 』という演題で、主に LIF の安全な施行について、豊富なご経験のもと、熱く、わかりやすくご講演いただきました。

また今回は、第 10 回の記念ということで、東北 MIST 研究会では初めてのアワードを設定させていただきました。Best presentation 賞には新潟大学魚沼基幹病院の勝見敬一先生の「低侵襲前側方固定術におけるケージ内補填剤の工夫:コラーゲン使用人工骨の骨癒合評価」が断トツの得点で受賞されました。また、Best discussor 賞は、新潟市民病院の湊圭太郎先生が受賞されました。

さらに当日まで秘密にしていたましたが、第 10 回までの一般演題 96 題のうち、施設別、演者別の演題数をランキングして報告させていただきました。施設別 1 位は岩手医大の9演題で、演者別 1 位は 7 演題の新潟大学魚沼基幹病院、勝見敬一先生でした。演者 1 位には高価な記念品を授与させていただきます。

勝見先生は Best presentation 賞と合わせ、ダブル受賞となりました。

本研究会を盛会に終えることができたのも、東北 MIST 研究会世話人の先生方をはじめ、サポートいただいた共催の旭化成ファーマ株式会社、協賛の各メーカーの皆様のお力添えのおかげと存じます。ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

次回の第 11 回東北 MIST 研究会は平成 30 年 7 月 7 日(土)秋田大学の工藤大輔先生のもと仙台において開催される予定です。第 4 回北海道・東北 MIST 研究会合同 OLIF/XLIF セミナーも合同開催の予定ですので、全国の皆様にもご参加いただきますよう、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

第10回東北 MIST 研究会

当番世話人

済生会山形済生病院

千葉克司

